

ましみずの里

No. 10
R2. 8. 20
校長
海老洋一

～自ら学び ともに伸びる～ 自ら考え表現し合い・自ら開きわかり合い・自ら挑み高め合う子どもを育てます

2学期 87日間が今日からスタート！ コロナ感染防止と熱中症防止に 気をゆるめない2学期のくらしづくりを！

保護者の皆様には、8月3日の週から始まった個別面談に暑い中ご来校いただき、担任と短時間ではありましたがお子さんの成長等の話し合いができましたこと、感謝申し上げます。また、2学期からも、毎朝の検温やマスク持参への声掛け等の感染症予防、さらに水筒やタオルの持参、帽子着用の声掛け等の熱中症予防のご理解とご配慮等をお願い致します。さらに2学期の学校行事等も感染拡大防止の観点で計画・実施していきますので、重ねてご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今日の始業式で子供達に話しました

みなさん、おはようございます。今年は12日間と大変短い夏休みでした。今年はコロナウイルスに感染しないように家で過ごすことが多かった特別な夏休みだったと思いますが、それでも病気や大きなけがをしないで、安全に楽しく過ごせたのではないのでしょうか。さあ、今日から2学期です。1学期や夏休みのくらしの振り返りをもとに、みなさん一人一人が、2学期何をがんばるか、自分で考えて表現・実行し、自分の考えと違ったことがあってもそれをわかろうとしながら、「**なりたい自分に向けて挑戦していく2学期**」にしてください。


さて、1学期の終業式では、各学年のがんばったことや一人一人が成長したことを話しました。その中で言い足りなかった、高揃小学校にとって「**うれしい学習**」が2つあったので、紹介します。

1つめ。校歌の2番に、「汲めどもつきぬ、真清水は」という歌詞があります。真清水とは、「地面や岩から自然に湧き出る、澄んだ冷たいきれいな水」のことを言います。「高揃小には汲んでも枯れることのない、きれいな湧き水が出ている」ということです。これは、今から147年前、明治6年に高揃小学校が開校された当時やそれ以前からずっと、この高揃地区には真清水が湧き出ているところが300箇所以上もあった豊かな土地だったのです。しかし、土地が変化したり工場が建ったりして、少しずつ枯れてしまったそうです。その中の1つ、高揃小のグラウンドにもあった真清水も、実はかなり長い間、水が湧き出ていない状態が続いていたのですが、1学期5年生が学校の自然環境を見つめ直す総合的な学習で、「**真清水を復活させたい。**」と技能士の大内先生の力を借りながら、真清水が出るようにしたのです。どのようにしたのか5年生に聞いたところ、大内先生と10mくらい長いパイプを作ってそれを真清水の湧き出てくる筒の中に入れて、水を送り込んだそうです。するとその筒とパイプの周りから、木や石、乾電池、消しゴム、5円玉が、そしてどじょうも2匹出てきたそうです。筒の中に、いろいろなものが詰まっていたから、真清水が出てこなかったのです。そして、7月のはじめに、何年かぶりに真清水が湧き出てきたのです。また5年生はその周りの池もきれいに掃除しました。この湧き水が再び出てきたことで、高揃小は校歌にもある「真清水の学校」に本当になったのだと私はとてもうれしく思っています。5年生ありがとう。これからもみなさんとこの真清水を枯らさないようにするためにはどうすればいいのか、一緒に考えていきたいと思っています。




2つめ。6年生は国語の学習で野村一秋さんという童話作家の本「びっくりしゃっくりトイレ掃除大作戦」を読んで感想文を書きました。その話は、一人でいつもトイレ掃除をしている小学生の主人公がある日、トイレ掃除が好きな林さんという技能士さんと出会います。その学校の子供達は技能士さんと触れ合うことや話しをすることがなくて、技能士さんの名前も知らないそうです。6年生は感想文に、大内先生から勉強でお世話になったことやふれあいを書いて野村さんに送ったそうです。そうしたら、野村さんから6年生へ返事が届きました。何て書いてあったと思いますか。紹介しますね。「高揃小学校は、この話の学校と全く違うようですね。みなさんは大内先生と親しくしていて、みなさんにとって大内先生がとても大切な人だということがよくわかりました。大内先生はいい人なのでしょうね。高揃小学校は子供達も先生もみんな優しく、温かい雰囲気につつまれた学校なんだろうなあと思いました。」という、とてもうれしい返事です。5年生にしても6年生にしても、そして1年生から4年生も大内先生に自分達の学習でたくさんのことを教えてもらったり、ヒントをもらったり、一緒に活動してもらったり、大変お世話になっていますね。大内先生を含めて、高揃小の先生方は、全員で23名。どの先生もみなさん292名のがんばりや困ったこと等をわかろうと2学期もがんばります。高揃小のみなさんと先生達みんな、2学期も「自ら学び、ともに伸びる」学校の目標に向けて、歩いていきましょう。

結びの話です。今日から始まる2学期で一番心配なのは、新型コロナウイルス感染症について「自分や家族、友達は大丈夫かな、また休校になったら嫌だな。」と感ずることではないですか。そこで、みなさんが絶対に感染しないように「気を緩めない2学期をつくろう～10の約束～」を確認したいと思います。担任の先生や友達と話し合いながら、行動できるように取り組んでください。



令和2年度
鼻から
あごまで

気をゆるめない 2学期をつくろう



石鹸で
消毒も
高揃小学校

**マスクは熱中症に
気をつけてつける！**

- ①口の所はさわらない！
- ②ゴムをもってはずす！
- ③しまう時は、内側を
中にしてたたむ！

10の

約 束

**手洗いは
こまめに！ていねいに！**

- ④手のひら→手の甲→指→
つめの間→手首の順で！
- ⑤清潔なハンカチでふく！
- ⑥消毒もわすれずにする！

覚えておこう！実際にやってみよう！優しく教え合おう！

- ⑦首から上（目・鼻・口）をなるべく、手でさわりません！
- ⑧くしゃみや咳は、腕やハンカチ、ティッシュでふさぎます！
- ⑨飛沫を吸わないように、友達とのあいだをあけます！
- ⑩教室の窓と入り口2か所、ろうかの窓の換気を心がけます！

そして、もし身近な人に心配されることが起きた時、心に留めてほしいことを話します。それは、私達がたたかう相手はウイルスで、人ではないということです。でも実際に感染が心配だったり、不安になったりすることは普通にあります。だからといって、その人を責めたり、いじわるをしたり、差別したりしても、解決にはなりません。誰かが悪いわけでも、誰かのせいでもありません。これからもコロナを乗り切るために必要なのは、お互いに優しさを持ちながら、思いやりの和を広げ、支え合うことです。そのことを2学期も、心にしっかりと受け止めてくらしをつくっていきましょう。